



関西支部報

http://jac.or.jp/kns/

関西支部90周年に向けて

茂木完治

90周年事業委員会立上げ

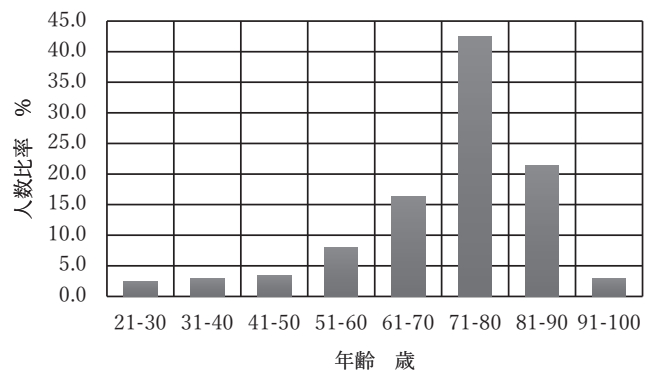
2025年に関西支部は設立90周年を迎えます。それに向けて90周年事業委員会を立ち上げました。そして90周年事業としての行事のアイデアを関西支部報185号で募集いたしました。いただいた回答は支部ルームを活用して支部内の交流活性化アイデアと他支部との交流の提案でした。90周年事業には直接関連しませんが現在の関西支部が抱える支部内の交流不足という問題のご指摘であったと思います。貴重なご提案に篤く御礼申し上げます。

90周年事業委員会として数回の議論を重ねており、ヒマラヤ登山塾、関西アルプス踏査という2つのプロジェクトがすでにスタートしております。これからいろいろなプロジェクトを立ち上げ、実行委員会を次年度に設置する予定です。

90周年という行事として式典やフォーラムを考えられると思いますが、事業はそれに留まりません。山岳会としての登山活動や出版事業も重要です。

関西支部が抱える課題

今、関西支部は岐路に差し掛かっています。昨年12月



発行の支部報182号でも述べた会員の年齢構成を見てください。

70代をピークとして若くなると急激に人数が少なくなります。60代以下の占める割合が少ないのが特徴です。90周年事業は今の70代を中心に支えることができるでしょう。しかし100周年となればこの70代はみんな80代後半になっています。

時とともに会員数の減少は防げない趨勢です。少ない人数でできることは限られています。特別な事業はできなくなるかもしれませんし、意義も問われるでしょう。

また、財務の逼迫も指摘されています。不足は寄付を

新年会のご案内

関西支部恒例の新年会を下記の通り開催いたします。

新入会員・会友の歓迎会も兼ねます。

日時：2022年1月19日(水) 18時30分～

場所：大阪梅田「大東洋」 電話06-6312-7525

会費：6,000円

参加申込は同封のハガキに63円切手を貼って1月5日迄にご投函ください。

連絡先：豊田哲也 電話：090-6433-3108

関西支部90周年に向けて	茂木完治	1
エベレスト登頂50周年記念フォーラム	小黒節郎	2
記念登山報告	重廣恒夫	3
藤木高嶺さんを偲んで		3
支部山行報告		4
▽高山山▽信貴山▽葛城二十八宿		4
友ヶ島序品窟▽台高山脈・本沢川		4
白倉又谷		4
自然保護報告		6
▽「本山寺山森林づくりの会」活動		6
報告▽子供も一緒に、本山寺山森林		6
づくりの活動あれこれ▽ママシに		6
咬まれた!!		6
会務報告		8
ルーム日誌		8
個人山行		8
山行委員会行事案内(1月～3月)		8
支部長のスポンサー紹介 その3		12
自然保護行事案内(1月～3月)		13
編集後記		14

目次

募って事業を行う必要がありますが、それに見合う事業を行えるでしょうか。不安を挙げればきりが無いのが現状です。

90周年事業が目指すもの

このままでは活動や財務がギリ貧になることは間違いありません。それを跳ね返す機会の一つが90周年事業ではないでしょうか。「90周年事業を推進する」ことで支部を活性化し、次の世代に引き継ぐことが大事だと考えます。

そのためには90周年を目指して登山をはじめとする支部活動を充実させ、目的に向かって力を合わせることで支部の活性化を図りたい。そのための登山事業の創出と会員間の交流を深める支部運営の改善を目指します。90周年に向かって明るく楽しく事業を推進し、夢のある新しい関西支部を作っていきます。

夢のある関西支部へ

明るく楽しい事業とはなんのでしょうか。関西支部も山岳会ですから登山が主要な事業です。目標とする山に登れば楽しくないはずはありません。そういう登山を90周年の事業にしませんか。また自分の夢を実現するために技術を磨く事業というのも考えられます。事業委員会

で出てきた案は、海外登山が①ヒマラヤの未踏峰、②ヒマラヤトレッキング、③ヒマラヤの沢開拓、④アフリカのキリマンジャロの登頂、国内は前にも述べたように①ヒマラヤ塾、②関西アルプス踏査がすでに始まっています。

ヒマラヤが多いですね。それはヒマラヤが日本山岳会の遺伝子だからです。ヒマラヤは実に素晴らしい世界で、一度はぜひヒマラヤの自然に触れていただきたいものです。私も80周年事業のナンガマリⅡ峰に一隊員として登頂させていただきました。難点は最低1か月かかってしまうことと費用です。未踏峰に自信がない方はトレッキングをしてみてください。短いので10日くらいでできるコースもあります。ヒマラヤの峰々に心を奪われてみてください。

案には挙がっていませんが、加藤文太郎に触発されて厳冬期の北アルプス縦走をしたい人、白山のスキー縦走を考えている人、アラスカのデナリとかペルーのワスカランに思いを馳せている人もいるでしょう。フランスのシャモニー定着で一夏を過ごすというのもよいですね。山の嗜好は人さまざまです。全てをやるのは無理ですし、技量がまだまだの人もあります。90周年で技量を磨き、仲間を作り、自分の夢に向かう、そんな90周年にしたいと考えています。

エベレスト登頂50周年記念フォーラム・記念登山報告

小黒節郎

2021年10月16日(土) 於：日高文化体育館

【プログラム】

- あいさつ 日本山岳会会長 吉野 淳
- 記録映像 「エベレスト登頂-1970年の記録」
- トークイベント
 - ①「初登頂への思い」 平林克敏 聞き手：神崎忠男
 - ②「登頂ルートと装備・技術の変遷」講師：重廣恒夫
- ライブ・ペインティング「壁」出演：黒田征太郎 B U - N I 朗読：市毛良枝

10月17日(日)蘇武岳登山

1970年の日本山岳会隊によるエベレスト登頂50周年記念イベントとして、日本人初の登頂者の一人、故・植村直己氏の出身地にて開催された。コロナによる影響で二度も延期されたなかで、開催にこぎつけた関係者の皆様の努力に感謝したい。関西支部からは第2次アタック隊

で登頂した平林克敏氏、1980年チョモランマ北壁初登攀などの重廣恒夫氏が登壇された。また地元中心に数多くの聴衆が参集し、関西支部からも30名近い参加者があり盛況であった。

写真は日本隊のエベレスト登頂に伴い発行された毎日グラフ(大判サイズ・146P)であるが、多分、山好きの父が買ったのを私が引き継いで保管していたのだと思う。当時私は中学生だったが、まるで宇宙服のような装備と翻る日の丸が印象深かった記憶がある。まさに国家の威信をかけた大事業であった。難関ルートの南西壁への挑戦はよく知られているが、トークイベントの中で女性隊員渡辺節子さんの活躍が語られて印象深かった。その後田部井淳子さんが女性としてのエベレスト初登頂者になるわけだが、今日の女性活躍のさきがけとして登山界がリードしていた一面もあるのだと納得した。

トークイベントは遠征のサイドストーリー的要素が多



く楽しく聞くことができた。私は二十歳の時にロールワリンから峠を越えてエベレスト街道をトレッキングし、カラパタールから仰ぎ見る世界最高峰の荘厳な姿に感動した。あれから45年、ヒマラヤの高峰へ夢を馳せた時があったも

の結果劣等生となってしまったが、NHKで放映され

る「グレートヒマラヤトレイル」を見て心ざわめく事に心地よさを覚える昨今ではある。重廣氏からエベレスト登山の歴史が語られ18ルートから登頂されていること、近年のガイド登山の盛況など、時代の変遷を実感することができた。

イラストレーター黒田征太郎氏による音楽を伴うパフォーマンスはとてもダイナミックで、同時に朗読された市毛良枝さんによる植村直己のエピソードは氏の人間性を語るに十分な内容であった。

登山組は新装なった植村直己冒険館に宿泊し懇親を深め、翌日は終日雨の中を地元の山の会の皆様と蘇武岳登山。今後の登山への意欲を高める充実した2日間となった。

藤木高嶺さんを偲んで

重廣恒夫

9月29日、藤木高嶺さんが腎不全で亡くなられた。藤木さんは1926(大正15)年に、朝日新聞記者で登山家としても著名だった藤木九三(RCC創立者。北穂高岳滝谷を初登攀。日本山岳会名誉会員)氏の三男として甲子園で誕生された。その頃、父九三氏は新聞社から語学留学生として渡欧中で、秩父宮殿下のmatterホルン登頂に随行した時期であったので。事前にロンドンから奥様宛に、生まれた子供が男の子だったら漢字で《高嶺》と書き、女の子だったら《たかね》とするよう手紙を出しておられたとの事である。子供の頃には九三氏に連れられて芦屋のロックガーデンや大山でのスキー登山をするなどの薫陶を受けて、46(昭和21)年関西学院大学予科に入学すると同時に山岳部に入部、仁川の岩場やロックガーデンでトレーニングをされたと聞く。卒業後、父親のあとを追って朝日新聞社に入社された。

61(昭和36)年には、関西学院大学隊の副隊長としてペルーアンデスのワスカラン南峰、同北峰、ネバド・コヨリティなどを登頂した隊に参加、自らも北峰(6655m)に登頂された。登山活動の終了後は、マチュピチュの踏査、アマゾン河流域の村を調査。さらにボリビア国境のチチカカ湖でウルス族の浮島、水上住宅の取材などの学術探検調査をおこない、これが藤木さんの探検人生の始まりであった。63(昭和38)年の北アルプス・薬師岳の愛知大学山岳部13人の遭難事故では本多勝一記者と共に取材。これが縁となって『カナダ・エスキモー』『ニューギニア高地人』『アラビア遊牧民』の「極限の民族」三部作が生

まれた。

初めて藤木さんに会ったのは73(昭和48)年にRCCⅡ(第2次RCC)が派遣した「日本エベレスト登山隊」に参加した時だった。後援が朝日新聞社と東京放送だったことも事もあり、藤木さんは特派員として参加された。登山期間中、藤木さんは主にBCの本部で取材を続けておられたので、登山隊員としてルート工作や荷上に従事している間は話をする機会も少なかったのだが、帰国後編集委員となられたのを契機に大阪・神戸と近いこともあり、北新地のバーで奢って貰ったりした。79(昭和54)年の未踏峰ラトックI峰(7145m)の遠征では朝日新聞社と朝日放送に後援の口利きをしていただき、朝日放送に掛け合って16mmフィルム100本を寄贈してもらったばかりか、キャノンスクーピックで撮影した映像は、「初登頂ラトックI峰」として朝日放送で放映された。またアサヒ



藤木さん(中央)と奥様と。左は筆者。藤木祭にて



式場に飾られた肖像画

グラフにも『ラトックI 峰征服』と6ページにわたって掲載をしていただいた。

その後もいろいろな催しに声をかけて貰ったが、その一つが大阪のデパートで催された「冒険展」の山岳部門で、それまでのヒマラヤ登山の写真を展示していただいただけで

なく、会場を訪問された文化人類学の大家、梅棹忠夫さんを紹介してもらった事もあった。

藤木さんは古くからヨット、自転車、リヤカー徒歩旅行、ハングラライダーなどに加えて、アコーディオン演奏家、けん玉名人などの人達を励まし、その育成にも力を注がれていた。精力的に海外での調査取材をこなす傍ら、編集委員になられてからは朝日カルチャーセンター講師（体

験民俗学）も務められ、最終講義の後の懇親会で高嶺会の設立が決まった。83(昭和58)年には帝国女子大学大阪(現・大阪国際大学)の教授に就任されたのを契機にカルチャーセンターの受講者や学生たちとの海外調査旅行も増え、高嶺会の総会は多くの人で賑わった。ヒマラヤから帰った後にゲストスピーカーとして呼んで貰う事も多く、高嶺会は老若男女が集う異業種交流の場でもあった。サンテレビの番組「週末遊牧民」で共演された河島英五さんとも深い親交があった。

藤木さんの魅力は、数多くの著作はもとより、110回に及ぶ海外探訪と取材の体験を話される時の独特の語り口と風貌にあった。葬儀当日式場の入口に、小学3年生の子供たちが描いたという藤木さんの肖像画が飾られた。そこには今にも話だしそうなギョロ目の藤木さんの姿があった。

支部山行報告

支部山行21-19 月例会(7月)
「高安山～信貴山縦走」

上森文子

7月4日(日)小雨後曇

緊急事態宣言明けの最初の月例会。当初は高安山から信貴山縦走予定が、ケーブルカーの点検運休の影響で逆コースに変更。JR王寺駅発のバスで近鉄信貴山下駅を経由し、信貴大橋バス停に到着。小雨の降る中、準備をしてスタート。

朝護孫子寺の立派な山門をくぐり、広い境内を歩いて張り子の寅が迎えてくれる本堂へ。晴れていれば展望も良い場所だが、雨のおかげで真っ白だ。休憩後、信貴山へ向かうが自粛明けで体力・脚力ともに落ちているのと、湿度の高さで汗がポタポタと滴り落ちる。レインウェアを着なくても歩けるからラッキーかと思いつつ信貴山437mへ到着した。ここでも展望はモヤのおかげで残念だった。

その後、昨年大河ドラマ「麒麟が来る」で有名になった松永久秀(弾正)屋敷跡である信貴山城址を見学。今は植林されている屋敷跡には丸太で作った可愛い足軽の人形や、説明板などきちんと整備されているので、観光客もチラホラ。それほど広くない山の土地に勾配を利用して城を建てる技術に感心した。

蒸し暑さに加え虫と戦いながら弁財天滝へ向かうが、水音が聞こえてくると涼しい気持ちになる。滝では手を浸してクールダウン(茂木さんは体ごとクールダウン。さすがです)。行場の東屋を拝借して昼食を取り、八尾市の最高峰である高安山へ再スタートした。

今回の両山は金剛生駒紀泉国定公園の中にあるため自然林が大半で、そのおかげだろうか時折、すき間から吹く風が気持ちいい。汗をかきながら2等三角点のある高安山487.5mに到着。この山も周囲の樹木が伸びてしまっていて展望はゼロ。集合写真を撮って高安山レーダー前で休憩。ここで黒田さんから「歩荷トレーニングの為にザックに入れて持ってきた」とコーヒーゼリーの差し入れ



弁財天滝前 写真提供：豊田哲也

があった。とても冷たくて美味しかった。重たいの
 ありがとうございました。全員これで生き返り、開運橋から最後の下りをもうひと踏ん張りして、無事に近鉄信貴山口駅へ到着した。帰りの電車を皆で待ちつつ、蒸し暑いなかでも汗をかきながら、自由に山を歩けるのは幸せな事だと改めて思った。

【コースタイム】

JR王寺駅9:20～9:38信貴大橋9:45～10:00朝護孫子寺10:20～10:40信貴山11:05～11:20屋敷跡～11:38弁財天滝12:10～12:47高安山13:00～14:29近鉄信貴山口駅

【参加者】

茂木完治、黒田記代、深澤優子、野村康、上森文子、薦田佳一、池尻英明、播戸日出生、中久保忠伸 計9名

支部山行21-20 第1回古道調査
「葛城修験の道」葛城二十八宿友ヶ島序品窟
 播戸日出生

7月25日(日)晴

久し振りの山行、気持ちも高揚している。修験道の始祖・役行者(8世紀)が始めたとされる葛城修験は、友ヶ島から始まり、その行場は沖ノ島につながる小島、虎島にある。今回、第一経塚の序品窟、行所の観念窟・五所の額や行者像などの探索、調査に随行した。

虎島は干潮時に沖ノ島から歩いて渡れるが、満潮時は不可(フランスの小島に建つモンサンミッシェル修道院の如し)。虎島にある序品窟は巨岩石が無数に横たわる海岸を通り抜けた岬にあり、奥行約10m、幅約50cmの狭い岩盤窟の中央部に石碑が建っている。その正面に「妙法蓮華経序品第一」と彫られ、第一経塚が祀られている。窟の内部は薄暗く、足場を確認しながら通り抜けると海が迫る岩場の海岸に出た。海にはプカプカ浮かぶ釣り船が見られた。復路はピストン、岩石海岸は無風状態、照りつける夏の太陽に喘ぎながらも、虎島入口ポイントに戻り、水分補給、木陰で休憩した。小休止後、次の行場観念窟・五所の額・行者像に調査隊は向かうも、私は猛暑でダウン。巨大な岩脈にある海蝕洞穴観念窟と五所の額を拝む事が出来ず悔やまれた。

虎島につながる沖ノ島の先端部に關伽井の碑がある。神仏に供え功德を示す水を汲み取る井戸として巡拝に欠かせないものであったという。島では貴重な井戸であった。

葛城修験の道とは、和泉山脈、金剛葛城山地の山中及び山麓に点在する経塚や行所をつなぐ山岳古道とのこと。そこには28カ所の経塚とその周辺に宿および行場が

存在していた。これらを結ぶ古道は総延長に112kmに及ぶと言われ、この調査には1年程かかる大事業とのこと。今回、調査のお役に立てませんでしたがお陰様で、役行者が初めて修行を積んだ現場を見る事が出来ました。次回9月の葛城古道調査も楽しみにしています。



關伽井跡 写真提供：永井 和

【コースタイム】

加太駅9:56～10:29行者堂～10:42加太港11:00(乗船)～11:24野奈浦棧橋11:59～12:14神島遙拝所～12:51關伽井跡～13:18序品窟～14:35五所の額～16:01野奈浦棧橋～16:45加太港～17:03加太駅

【参加者】

永井和、豊田哲也、茂木完治、黒田記代、辻和雄、久保和恵、岩崎しのぶ、横山規江、新本政子、重廣恒夫、深澤優子、中村三佳、播戸日出生 計13名

支部山行21-21 沢登り例会
台高山脈・本沢川・白倉又谷のキャニオニング

茂木完治

7月31日(土)晴

参加者は中久保、豊田、西田、茂木の沢慣れたメンバーで行った。車を置いて白倉又谷の林道を汗だくで終点へ行く。ウェットスーツに着替えて谷に入る。この日の目的は谷を沢登り形式で登れる所まで登りそこからキャニオニングで下降し、沢登りとキャニオニングの違いを体感してもらうことであった。斜滝10mは釜を泳いで左岸から中久保トップで登る。続く直瀑10mは右岸より巻く。ゴルジュの奥にある10m滝を泳いで見に行く。谷はこの上で40m滝を含む連瀑帯になるが今回はそこには入らずに引き返す。登った時の苦労が嘘のように次々と釜に飛び込み泳ぐことを繰り返して林道終点に戻った。

8月1日(日)晴、午後夕立

参加者は昨日の4名に上森、関戸という全くの未経験者が追加された。そのため林道に沿って谷を駐車場まで下る初級者向けコースに行った。難しい所はなく、飛び込みやスライディング前のコース確認などの訓練をしながら下降した。時間で打ち切って林道へ上がり駐車場へ戻った。

キャニオニングはできるだけ水中を下る技術である。しかし沢登りと同じ感覚でやると極めて危険である。飛び込みで水中の岩に当たって足を砕く、渦に巻き込まれて溺れるということはしばしば聞くことである。キャニオニングは沢登りと似ているが全く異なる技術体系を持っている。ほとんどが安全を確保するためのものであることがキャニオニングの危険性を物語るものである。しかし沢登りだけでは谷の素晴らしさを知るのに限りがある。下って初めて見える素晴らしさがあるのだ。それを知ってもらうために支部として行ける所に限りがあるがキャニオニングをテーマの一つにしていきたいと考えている。



白倉又谷のキャニオニング

【コースタイム】

7月31日 本沢川筏場駐車場10:00～11:30白倉又谷林道終点～13:00連瀑帯下～15:00林道終点

8月1日 本沢川筏場駐車場10:00～11:30林道終点～15:00本沢川筏場駐車場

【参加者】

茂木完治、中久保忠伸、豊田哲也、西田智子、上森文字、関戸京子 計6名

自然保護行事報告

「本山寺山森林づくりの会」活動報告
(2021.7～9)

◆コロナ休止の為、期間中11回の活動予定だったが実施は3日に留まる。つくづく「切歯扼腕」！！

◆日 時：2021(令和3)年7月1日(木)9:30～15:00

気 象：曇り(22℃)

活動エリア：44林班い・ろ、は-02

活動内容：山道開設のルート延伸確定、自然歩道整備、水源1付近の溪流補修

参加者：石原順子、内海宏一、斧田一陽、小櫃徹夫、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、山田真也、山本國夫 計9名

◆日 時：2021(令和3)年7月18日(日)9:30～15:30

気 象：晴(26℃)

活動エリア：44林班い、ろ

活動内容：天狗杉付近の自然歩道西斜面の倒木・枯損木処理、水源②の水路保全と周辺倒木処理、自然歩道(旧道)水切り溝整備 午後は森林づくりの会年次総会

参加者：猪川誠、石原順子、大本孝子、斧田一陽、小櫃徹夫、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、河野直子、薦田佳一、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、山田真也、山本國夫

総会のみ：内海宏一、阪下幸一 (体験)中西美香

計18名

◆日 時：2021(令和3)年7月25日(日)9:30～15:30

気 象：晴(26℃)

活動エリア：44林班い

活動内容：里山保全(倒木、枯れ枝処理)

参加者：猪川 誠、石原順子、斧田一陽、倉谷邦雄、武田壽夫、中村賢三、山田真也 (体験)中野照子 計8名

子供も一緒に、本山寺山森林づくりの活動あれこれ

河野直子

夏は涼しいところで、冬は少し標高の低いところを選んで、とても楽しい森林づくりの活動だ。たまに親類の中学生が参加する。彼女は小学生の時からもう4年くらい毎年1回参加している。森づくりが楽しいようだ。小学生時代には彼女の家族全員が参加したこともある。その時は斧田さんに山を案内していただき、木の枝払いを

させてもらい、その木の枝をもらって、帰宅してからも公園で遊んでいた。今年は夏の登山道整備に参加した。登山道に流れる雨水が土を流してしまわないように、溝を掘り、水はけを良くしたりする。今では私などより彼女のほうが丸太を移動するのも、道づくりも早い。彼女に一言感想を求めたら、「大変な作業が多いけれど、楽しいです!」ということだった。

お正月1月3日の本山寺の護摩焚きは山伏がたくさん来られ、火渡りの儀式には私達も裸足になって参加できる。

トレランの方が森林づくりにも参加して、自分たちが走る山道の保全から環境全体のことを考えて行動されている姿に頼もしいなあと思う。力もいっぱいあり、いろいろなことを素早く行動は早い。彼らは大きな力だ。

登山道は山小屋の方や、私達のような各地のボランティアが整備しているのだと思う。地方の山を歩いても、下草刈りがきちんとされている。山を愛するいろんな方が作業をしておられるのだなーと思う。

マムシに咬まれた!!

重廣恒夫

10月7日(木)は登山教室上級で五助谷の廻行であった。いつものように石切道を登り住吉霊園から続く道路に出て、終点の土場で準備体操をして五助谷へのトラバース道を辿った。ほどなく指差岩に到着し、小休止の後五助滝へと向かった。三段の滝を擁する五助滝の下でいつもの記念撮影をした後、左岸の高巻道へと入った。いつもはタイトロープで安全を確保し滝の上部へと抜けるのだが、この日は30mロープに3人が連なったので途中で2人を迎えた。

3番手の中久保さんが登り始めてすぐに、“痛ツ” 続けて“マムシに噛まれました”と叫んだ。すわ一大事と中久保さんの所まで下り右手小指付け根の咬傷を確認、ポイズンリムーバーで表裏2ヶ所を吸引する。血が出てくると水で洗い流す作業を3回ほど繰り返した後、身体に負荷のかかる上部への廻行を止めて往路を土場へと戻った。救急車を呼ぶのに判り易いように、5分ほど下の堰堤の工事現場まで下った。マムシに噛まれたのが10時45分、救急車を呼んだのが11時42分。中久保さんの指は大きく腫れてきた。

重廣：マムシに噛まれました。救急車をお願いします。

オペレーター：連絡をいただいている携帯の位置情報で「石切道」の途中のようですが、そうですか？

重廣：「石切道」の途中にいます。住吉霊園北の紅葉谷第五堰堤工事の現場です。

オペレーター：近くに「道標」がありませんか？

重廣：ちょっと待って下さい。「ひ 7-2」です。

オペレーター：了解しました。これから救急車をそちらに向かわせます。噛まれた方の容体が変われば連絡ください。

救急車を待つ間、ハーネスなどのギアを外しザックに収納する。

12時12分、先導車に続いて救急車が到着。噛まれたのが本当にマムシだったのか、どんな器具で処置したかなどを聞かれた後、中久保さんの年齢や通報者の氏名の確認に時間を要す。いつも携行している「健康情報・緊急時対応カード」や「山のエマージェンシー・ピンチカード」を見せればもう少し短時間で済んだのにと悔やんだ。

12時20分、救急車は神戸赤十字病院へと向かった。最初に搬送された日赤には血清が無く、隣の兵庫県災害医療センターで治療を受け入院、11日にめでたく退院の運びとなった。



現地の注意書きと、神戸市消防局の通報プレート

マムシに咬まれたら

- ①まずは落ち着いて安静に。ポイズンリムーバーがあれば吸引をおこなう
- ②可能であれば咬まれた蛇の写真を撮っておけば、救急隊員や病院の対応に役立つ
- ③救急車が接近できる場所までゆっくり移動する
- ④「119ばんつうほうプレート」などがあればその番号を確認して119番（六甲山では約800箇所に神戸市消防局が設置）をする。

※「健康情報・緊急時対応カード」「山のエマージェンシー・ピンチカード」のお問い合わせは、
tsuneo.shigehiro@outlook.com 重廣 まで連絡下さい。

Room目録(2021年7月～9月)

7月9日 財務委員会	8月4日 山行ひろば	9月15日 支部報発送
10日 総務委員会	18日 事務処理	15日 支部役員会
14日 支部役員会	9月4日 本山寺山森づくりの会	28日 三役会議
28日 山行ひろば	10日 事務処理	29日 山行ひろば

個人山行(2021年7月～9月)

安全委員会に提出された個人山行登山計画書

7月4日	生駒山系 十三峠～高安山～信貴山	7月17日～18日	兵庫県安富町 鹿ヶ壺
7月10日～11日	中ア 恵那山	7月22日～25日	谷川岳・苗場山・雨飾山
7月11日	金剛葛城山地 金剛山妙見谷	7月23日～24日	八ヶ岳 赤岳～阿弥陀岳
7月16日～18日	北ア 白馬岳	7月23日～26日	北ア 奥大日岳～弥陀ヶ原
		7月24日～25日	大峰 釈迦ヶ岳
		8月2日～6日	屋久島 宮之浦岳～永田岳

2022年1月～3月 山行委員会行事案内

21-58 月例会(1月)

新春初歩き、今年の干支“虎”の名前の山に登る
「虎御前山224m～小谷山494m」

日 時：1月9日(日)

集 合：虎姫駅 9時50分

コース：虎姫駅～虎御前山～小谷山～河毛駅

地 図：2.5万分の1「虎御前山」

備 考：小谷山に行かず、虎御前山から河毛駅に下山可。

申込み：12月31日(金)迄(担当：黒田記代)

21-59 クライミング初級

「六甲・蓬莱峡」

日 時：1月13日(木)

※後尾に申込み先連絡先掲載【いずれも締切厳守】

集 合：阪急宝塚駅 8時30分

装 備：ハーネス、ヘルメット、登攀具、クライミングシューズなど

申込み：1月6日(木)迄(担当：江村俊也)

21-60 沢登り例会

「六甲柚谷川ハチノス谷(中級・日帰り)」

日 時：1月15日(土)

集 合：阪急六甲駅 9時

コース：六甲駅～柚谷堰堤～(遡行)～長峰山～六甲駅

地 図：2.5万分の1「神戸首部」

備 考：長峰山南面の連瀑の谷。大滝は全長30mあるらしい。

申込み：1月5日(水)迄(担当：茂木完治)

21-61 雪稜シリーズ④

「両白山地・法恩寺山」

日 時：1月15日(土)～16日(日)

備 考：詳細は申込者に連絡します。

申込み：12月31日(金)迄(担当：江村俊也)

21-62 第4回関西のアルプス踏査

「加西アルプス」

日 時：1月16日(日)

集 合：北条鉄道法華口駅 9時

コース：法華口駅～善防山～笠松山～登山口～播磨下里駅

地 図：2.5万分の1「笠原」

備 考：雨天決行（但し、当該地域に6時に警報等が出た場合は中止）

申込み：1月9日(日)迄(担当：重廣恒夫)

21-63 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて

北摂南部の山「雨森山384m」

日 時：1月20日(木)

集 合：能勢電鉄日生中央駅改札口前 9時30分

コース：日生中央駅～近畿自然歩道～雨森山～龍化つり橋～知名さくら橋～一庫ダム展望台～日生中央駅

地 図：2.5万分の1「広根」「妙見山」

備 考：歩行距離約12km 歩行時間約5時間

申込み：1月11日(火)迄(担当：久保和恵)

21-64 第6回古道調査

「葛城修験の道」神福寺跡第2経塚

日 時：1月22日(土)

集 合：南海電鉄加太線西ノ庄駅前 9時40分

(南海難波駅8:15発の和歌山市行特急が便利です)

コース：西ノ庄駅～西念寺～神福寺跡第2経塚～佐瀬川(慈眼院)～猿坂峠～甲山～横手(八王子社)～八王子峠～金輪寺～南海本線孝子駅

地 図：2.5万分の1「加太」「淡輪」

備 考：歩行距離約11km

※9月に中止になった山行です。

申込み：1月5日(水)迄(担当：永井 和)

21-65 山のファーストエイド

～応急処置の基礎知識～

講 師：江村俊也(日本登山医学会山岳医)

日 時：1月23日(日)14:00～16:30

会 場：関西支部ルーム

申込み：1月17日(月)迄(担当：江村俊也)

21-66 六甲山を歩く

「古の信仰の道」

日 時：1月29日(土) 予備日2月5日(土)

集 合：神鉄六甲駅改札口 9時30分

コース：神鉄六甲駅～古寺山～シュラインロード～前

「山行ひろば」開催案内

支部ルームに集まり、登りたい山の話を楽しみましょう。会員間の交流を図る場としてご利用下さい。

1月26日(水)、3月30日(水)

支部ルーム 18:30～20:30

(ネットでも同時開催、希望者は茂木完治まで)

「山行ひろば」報告

7月28日開催予定でしたが8月4日に開催変更。10名(茂木、辻、黒田、中久保、深澤、関戸、上森、小壁、井川、竹中)参加。ネットで開催し、茂木が2019年正月と4～5月にネパール・ランタン渓谷で実施した沢登りとお釈迦様生誕地のルンビニの紹介を行いました。沢登りの観点から見るとネパールはまだ未開拓地です。

9月29日にネットで開催しました。18名(ルーム：茂木、岡野、薦田、ネット：黒田、辻、永井、豊田、中久保、小黒、後藤、小壁、関戸、井川、野村(康)、

加藤(惇)、森田、今宿、柴田)参加。関西支部80周年事業で行ったネパールのナンガマリⅡ峰登頂を茂木より紹介しました。

※これからもネットと対面の併用で「山行ひろば」を開催していきますので気楽に参加ください。

(茂木・記)



「2019年正月、ランタン谷支流の標高2500m付近にて」
写真提供：茂木完治

ケ辻～アイスロード～阪急六甲駅

地 図：2.5万分の1「有馬」「神戸首部」

備 考：歩行距離約11km 歩行時間約5時間

申込み：1月22日(土)迄(担当：松仲史朗)

21-67 第4回ヒマラヤ登山塾

「白き氷河の果ての山K2」

日 時：1月30日(日)

開催時間：15～17時

開催場所：大阪梅田第2ビルB4F(ロジ大阪店地下)

参加費：500円(資料代)

備 考：事前申し込み制(開催日の10日前にメ切)

参加人数(当分の間20名とし、先着順)

申込締切：1月20日(木)迄(担当：重廣恒夫)

21-68 救命講習会

大阪市消防局の御協力を得て開催します。

日 時：2月6日(日)

開催時間：13時30分～16時30分

開催場所：大阪セルロイド会館3F会議室

備 考：募集人数 先着10名

申 込 み：1月21日(金)迄(担当：茂木完治)

21-69 クライミング初級

「六甲・蓬莱峡」

日 時：2月10日(木)

集 合：阪急宝塚駅 8時30分

装 備：ハーネス、ヘルメット、登攀具、クライミングシューズなど

申込み：2月3日(木)迄(担当：江村俊也)

21-70 第5回関西のアルプス踏査

「比叡アルプス」

日 時：2月13日(日)

集 合：叡山電鉄叡山本線元田中駅 9時30分

コース：元田中駅～瓜生山～一本杉～壺笠山～JR唐崎駅

地 図：2.5万分の1「京都東北部」

備 考：雨天決行(但し、当該地域に6時に警報等が出た場合は中止)

申込み：2月6日(日)迄(担当：重廣恒夫)

21-71 支部スキーツアー

「ハチ北スキー場」

日 時：2月14日(月)～15日(火)

集 合：新大阪&三宮

往路：新大阪発8時 三宮発9時

復路：スキー場発17時 三宮着19時50分 新大阪着20時50分

場 所：ハチ北スキー場

備 考：新大阪発三宮経由バスツアー利用

一泊二日夕朝食・リフト券二日分付

22000円から23000円程度予定

日帰りでの参加も可能

申込み：1月14日(金)迄(担当：小黒節郎)

21-72 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて

廃線「幻の大仏鉄道を歩く」

日 時：2月17日(木)

集 合：JR加茂駅改札口前 10時10分

スケッチ同好会

【報 告】 第44回 妙見山

日 時 2021年10月8日(金)

参加者：岩崎しのぶ、浦上芳啓、金井良碩、久保和恵、河野直子、薦田佳一、嶋岡章、田頭夏子、播戸日出生、横山規江、中島隆 計11名



「妙見山より見た六甲遠望」 画：久保和恵

【案 内】

第46回 近江舞子

日 時：2022年1月17日(月)

集 合：JR近江舞子駅改札口前 午前10時

申 込：2022年1月10日(月)まで

久保和恵 (携帯)090-2598-9226

(Eメール)uncletorys05-kazu@nifty.com

第47回 長岡天満宮

日 時：2022年3月14日(月)

集 合：阪急長岡天神駅改札口 午前10時

申 込 2022年3月7日(月)まで

田頭夏子 (携帯)090-7756-9319

(Eメール)rosesummer27@yahoo.co.jp

備 考：雨天中止(参加者には前日に連絡)

コース：加茂駅～梶ヶ谷隧道～松谷川隧道～黒髪山トンネル跡～JR奈良駅

地図：2.5万分の1「田辺」「奈良」

備考：歩行距離約10km 歩行時間約4時間30分

申込み：2月8日(火)迄(担当：久保和恵)

21-73 第7回古道調査

「葛城修験の道」入江宿桜地蔵第4経塚

日時：2月19日(土)

集合：JR阪和線紀伊駅前 9時5分

(JR阪和線天王寺駅7:59発紀州路快速が便利です)

コース：紀伊駅～広西山(△276.3m)～落合～春日神社～滝畑～入江宿桜地蔵第4経塚～境谷～郷の峠～安上バス停(バス)紀伊駅

地図：2.5万分の1「淡輪」「岩出」

備考：歩行距離約17km、健脚向。

第4回雲山峰第3経塚と第5回根来寺・倉谷山第5経塚とをつなぐルートです。

申込み：2月4日(金)迄(担当：永井 和)

21-74 雪稜シリーズ⑤

「飛驒高地・猿ヶ馬場山」

日時：2月19日(土)～20日(日)

備考：詳細は申込者に連絡します。

申込み：1月31日(月)迄(担当：江村俊也)

21-75 月例会(2月)

「氷ノ山1510m～ハチ高原」

日時：2月26日(土)～27日(日)

集合：JR八鹿駅 10時33分着 10時40分発のバスに乗車

コース：東尾根登山口～千本杉ヒュッテ(泊)～氷ノ山～ハチ高原

地図：2.5万分の1「氷ノ山」

備考：神戸大の千本杉ヒュッテに宿泊し、ハチ高原まで縦走する山行です。

詳細は申込者に連絡します。

申込み：2月12日(土)迄(担当：山内幸子)

21-76 第5回ヒマラヤ登山塾

「ヒマラヤ鉄の時代 ラトック I 峰」

日時：2月27日(日)

開催時間：15～17時

開催場所：大阪梅田第2ビルB4F(ロッジ大阪店地下)

参加費：500円(資料代)

備考：事前申し込み制(開催日の10日前にメ切)

参加人数(当分の間20名とし、先着順)

申込締切：2月17日(木)迄(担当：重廣恒夫)

21-77 沢登り例会

「金剛山 カトラ谷」

日時：3月6日(日)

集合：車利用のため参加者に後日連絡します。

地図：2.5万分の1「五條」「御所」

備考：詳細は申込者に個別連絡します。

申込み：2月24日(木)迄(担当：中久保忠伸)

21-78 第8回古道調査

「葛城修験の道」七越峠経塚山第11経塚

日時：3月6日(日)

集合：南海電鉄和泉中央駅 8時30分

(南海難波駅7:54発和泉中央行が便利です)

コース：和泉中央駅(タクシー)父鬼～七越峠～経塚山第11経塚～三国山～千本杉峠～槇尾山施福寺～槇尾山バス停(バス)和泉中央駅

地図：2.5万分の1「内畑」「岩湧山」

備考：和泉中央～父鬼 タクシー代：3800円

歩行距離約14km

申込み：2月21日(月)迄(担当：永井 和)

21-79 クライミング初級

「六甲・蓬莱峡」

日時：3月10日(木)

集合：阪急宝塚駅 8時30分

装備：ハーネス、ヘルメット、登攀具、クライミングシューズなど

申込み：3月3日(木)迄(担当：江村俊也)

21-80 道迷い講習会

「JR宝塚線道場駅付近の山」

講師：青山千彰(山岳遭難研究者)

日時：3月12日(土)

集合：JR宝塚線道場駅 9時

コース：道場駅～訓練～道場駅

装備：プレートコンパス、鉛筆、A4用の画板、20cm以上の物差(100円ショップ品可)、雨具、タオル、ティッシュ、昼食、飲み物

服装：丈夫な服、軍手、眼鏡(ない人は作業眼鏡かサングラスが望ましい)

地図：2.5万分の1「武田尾」

申込み：3月5日(土)迄(担当：茂木完治)

21-81 第6回関西のアルプス踏査

「和気アルプス」

日時：3月13日(日)

集合：JR山陽本線和気駅 10時30分

コース：和気駅～和気富士～観音山～穂高山～竜王山
～奥の峰～神ノ上山～山の学校～和気駅
地 図：2.5万分の1「和気」
備 考：雨天決行（但し、当該地域に6時に警報等が出た場合は中止）
申込み：3月6日(日)迄(担当：重廣恒夫)

21-82 第6回ヒマラヤ登山塾

「第2次大戦後初開放のチョモランマ北壁」
日 時：3月20日(日)
開催時間：15～17時
開催場所：大阪梅田第2ビルB4F(ロジック大阪店地下)
参加費：500円(資料代)
備 考：事前申し込み制(開催日の10日前にメ切)
参加人数(当分の間20名とし、先着順)
申込締切：3月10日(木)迄(担当：重廣恒夫)

21-83 月例会(3月)

信仰の古道「庄兵エ道」を歩く
日 時：3月21日(祝・月)
集 合：近鉄生駒駅中央改札口 9時
コース：生駒駅～宝山寺～教弘寺～鶴林寺～暗峠越道
～千光寺～元山上口駅
地 図：2.5万分の1「生駒山」「信貴山」
備 考：歩行距離約9km 歩行時間約6時間
申込み：3月14日(月)迄(担当：岩崎しのぶ)

21-84 第9回古道調査

「葛城修験の道」神野山第12経塚、鎌のタワ第13経塚、
光滝寺第14経塚
日 時：3月26日(土)
集 合：JR和歌山線笠田駅 9時15分

(南海難波駅7:48発橋本行急行で橋本駅乗換え、JR和歌山線橋本駅8:56発和歌山行が便利です)

コース：笠田駅(タクシー)東谷～文蔵の滝～神野～神野山第12経塚～燈明岳～堀越観音～鎌の多輪第13経塚～蔵王峠～光滝寺第14経塚～滝畑ダムバス停(バス)河内長野駅
地 図：2.5万分の1「岩湧山」
備 考：タクシー代約3700円
歩行距離約16km
申込み：3月12日(土)迄(担当：永井 和)

21-85 雪稜シリーズ⑥

「富山県・初雪山」
日 時：3月26日(土)～27日(日)
備 考：詳細は申込者に連絡します。
申込み：2月28日(月)迄(担当：江村俊也)

21-86 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて

「京都 背割堤・鳩ヶ峰・石清水八幡宮」
日 時：3月31日(木)
集 合：京阪石清水八幡宮駅 10時
コース：石清水八幡宮駅～背割堤～鳩ヶ峰～石清水八



支部報の広告をご覧になってますか。現在岳人&モンベル、イワタニ・プリムス、ファイントラック、ケンコー社の4社が広告を載せてれています。その企業が利用者に知ってほしいことや特色などを紹介することにしました。
3回目はファイントラックです。

**支部長のスポンサー紹介 その3
ファイントラック**

私は沢屋である。一日中水に浸かり濡れたまま寝なければならぬこともあった。濡れに耐え朝方になってやっと服が乾いてもすぐまた水へ飛び込む。服を着ることの意味はほとんどない。

そんな悩める私に10年前ファイントラックのドライレイヤーを勧める人がいた。「高いけどだまされたと思って使ってみてくださいよ～」「だめだったら詐欺やで！」ということで、だまされたと思って買った。初めてが雨の大峰の谷だったが、濡れたままで寝てもジメジメ感がないのが衝撃だった。背中丸めて膝抱えなくても耐えられるではないか！雨の中を何日も溯行することもある海外の谷での必須のアイテム

になった。ドライをひたすら追求するファイントラックは沢屋にとってまさに福音だった。
(No.13568 茂木完治)

沢屋にとって服を着て登るのは身体が冷えるだけなので、昼は全裸で夜は乾いた服を着て寝るのが理想に思えた。それを覆したのがファイントラックだった・・・



幡宮～石清水八幡宮駅

地図：2.5万分の1「淀」

備考：歩行距離約10km 歩行時間約4時間30分

申込み：3月22日(火)迄(担当：久保和恵)

申込み先一覧

岩崎しのぶ	sinobu160930@gmail.com
江村俊也	tobi.osaka@me.com
小黑節郎	setsuro.oguro@nifty.com
久保和恵	uncletorys05-kazu@nifty.com
黒田記代	kuroda2822@ken.jp
重廣恒夫	tsuneo.shigehiro@outlook.com
永井 和	nagai.kazu@gmail.com
中久保忠伸	qq8v9xu9tnnt@jcom.zaq.ne.jp
松仲史朗	mgjqk966@ybb.ne.jp
茂木完治	yib03510@nifty.com
山内幸子	sacchyama2f0710@yk2.so-net.ne.jp
関西支部	kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

～遠城寺山～黒谷山～ JR藍本駅

2月5日(土) JR新三田駅～須磨田口バス停～大谷山～

△上本庄～上青野バス停～ JR新三田駅

3月5日(土) JR福知山線藍本駅～駒宇佐八幡宮～奥山～コン橋～ JR藍本駅

・中級(初歩の沢歩きで岩場の通過と登攀具の使用法習熟)

1月11日(火) 神戸電鉄有馬温泉駅～七曲滝～百間滝～白石滝～六甲最高峰～極楽茶屋跡～湯槽谷峠～有馬温泉駅

2月8日(火) くるくるバスエクセル東バス停～西滝ヶ谷～五助山～五助堰堤～エクセル東バス停

3月8日(火) 神戸市営バス渦森台バス停～西山谷～天狗橋～天狗岩～寒天橋～阪急御影駅

・上級

1月20日(木) 江若交通平バス停～アラキ峠～権現山～小女郎峠～蓬莱山～打見山～山麓駅～ JR志賀駅

2月17日(木) 比良駅～イン谷口～第3ルンゼ～堂満岳～金糞峠～イン谷口～比良駅

3月24日(木) 江若交通坂下バス停～小女郎峠～蓬莱山～打身山～山麓駅～志賀駅

・リーダー養成講習会

2月12日(土)

2022年(1～3月)

ステップアップ登山教室 一般募集

(会員・準会員・会友も参加可能)

受講料：1回1,500円

※登山教室の詳細内容については、関西支部のホームページをご覧ください。

・初級(登山に必要な知識・技術・体力養成)

1月8日(土) JR福知山線藍本駅～天神岳～茗荷谷山

2022年1月～3月 自然保護行事案内

1. 日本山岳会関西支部本山寺山の森森づくり活動

(本山寺山森林づくりの会活動)

活動日：1月3日(月)、1月16日(日)、1月27日(木)、
2月3日(木)、2月13日(日)、2月20日(日)、
3月3日(木)、3月13日(日)、3月20日(日)

作業内容：倒木処理、林床整備、常緑広葉樹除伐、杭止柵積、歩道保全など

集 合：JR京都線高槻駅北 アルプラザ前 8時40分

●体験作業、森林観察、入会歓迎です

2. 東お多福山ススキ草原復元活動

(東お多福山草原保全・再生研究会活動)

活動日：2月26日(土)

予備日：雨天など中止の場合、翌週同曜日

作業内容：全面刈払い、ネザザ刈払い、ススキの収穫など

集 合：JR神戸線芦屋駅南口 8時30分

3. 自然視察会・森林観察会

●本山寺山の森観察、体験参加、見学

期日、集合は、上記本山寺山森林づくりの会活動日と同じ

●東お多福山観察会

12月19日(日)、1月27日(木)、2月19日(土)、3月24日(木)

集 合：東お多福山登山口バス停 9時

問い合わせ・申込み先

斧田一陽(全般)

☎/FAX 072-633-6556、090-4037-4542

武田壽夫(本山寺山の森活動) ☎090-2042-9101

田島聖子(東お多福山活動、観察会)

☎078-411-3837

締切：開催日の2週間前まで

山岳雑誌 岳人

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「岳人」

毎月
15日
発売

【特集】登山家 田部井淳子

★モンベルのウェブサイト、全国のモンベルストアや書店にて発売中!

価格968円(税込)



▶年間購読がおすすめ

購読割引

送料無料

限定品プレゼント

通常価格
12冊

10,560円(税抜)
11,616円(税込)

年間購読
12冊

9,680円(税抜)
10,648円(税込)

1冊分
おトク!

年間購読のお申し込みはこちらから!》》

<https://www.gakujin.jp/>



全国の
モンベルストア
でも受付中!

お問い合わせ
モンベルポスト



0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。



TRAIL CRAMPON PRO

おすすめアイゼン!

- ①ラチェット式で簡単脱着!
- ②10本爪で高いグリップ力!
- ③ペアで667gの軽量アイゼン!



適合サイズ:25-30cm

※本商品は2,000m以下の堅雪でご使用下さい。

トレイル
クランポンプロ ¥10,780(税込)

輸入元: (株)ケンコー社 TEL: 06-6374-2788

※カタログをご希望の方は、弊社までご連絡くださいませ。

〈編集後記〉

☆ようやく、コロナが落ち着いた感がなきにしもあらずですが、海外の動向を見ていると、まだまだコロナ・ストレスは続きそうです。ところで先日、久しぶりに仕事で六甲最高峰に行くと、一軒茶屋の前に立派なトイレと休憩所ができていました。以前の臭かったトイレは更地になっていました。面倒がって行かないと、いろいろ山も変わって行くなあと、実感した次第でした。(加藤芳樹)

第186号 2021(令和3)年12月10日 発行

発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22

梅田東ビル 3階 304号室

公益社団法人 日本山岳会関西支部

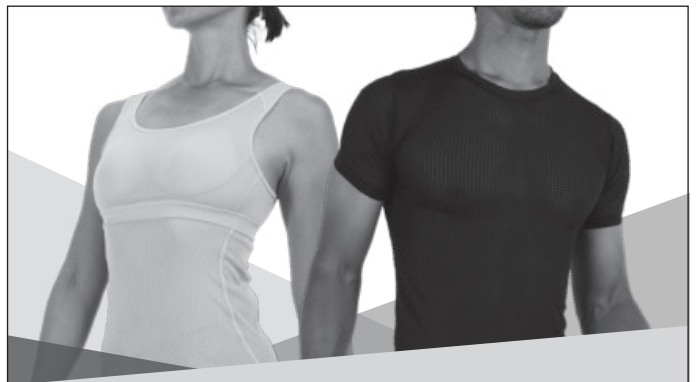
e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

郵便振替口座 00930-6-55950

発行者 茂木完治

編集 加藤芳樹 中村三佳

制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28



この1枚が、登山を変える。

DRY LAYER®

finetrack®

ドライレイヤー 検索



私たちは
人と自然をつなぐ道具を
提案します。

IWATANI-PRIMUS

イワタニ・プリムス株式会社

www.iwatani-primus.co.jp

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-20